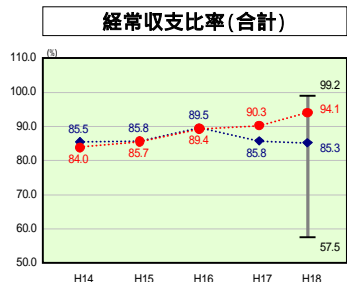


# 歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

岩手県 平泉町

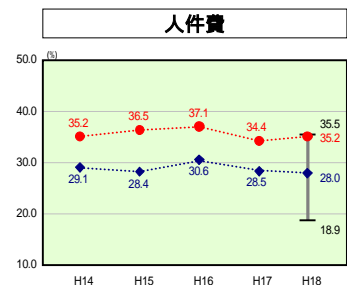
## 経常収支比率の分析



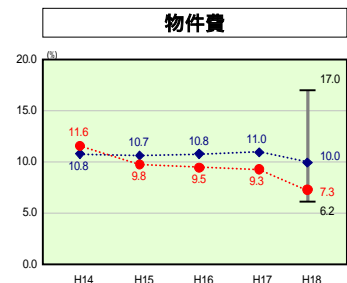
当該団体値 ●  
類似団体内平均値 ◆  
類似団体内最大値 ▮  
類似団体内最小値 ⊥

人口	8,848 人(H19.3.31現在)
面積	63.39 km <sup>2</sup>
歳入総額	3,950,244 千円
歳出総額	3,879,586 千円
実質収支	70,658 千円

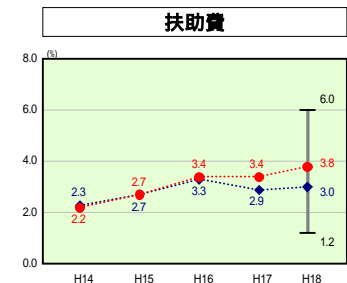
H18類似団体内順位 54/59  
全農市町村平均 90.3  
岩手県市町村平均 90.2



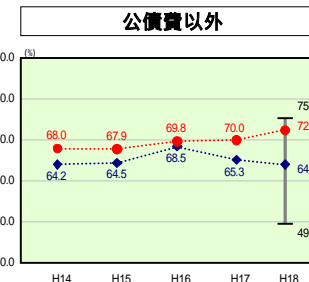
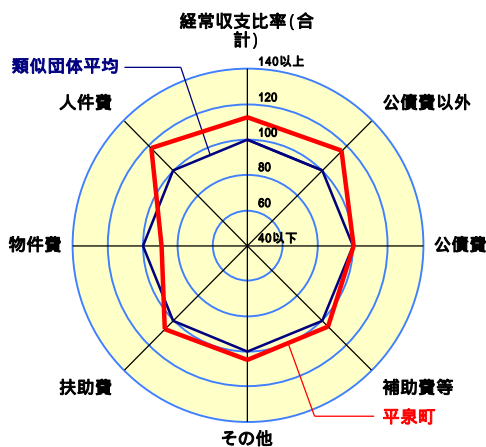
H18類似団体内順位 59/59  
全農市町村平均 28.2  
岩手県市町村平均 27.3



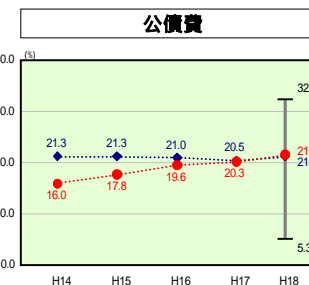
H18類似団体内順位 6/59  
全農市町村平均 12.9  
岩手県市町村平均 11.5



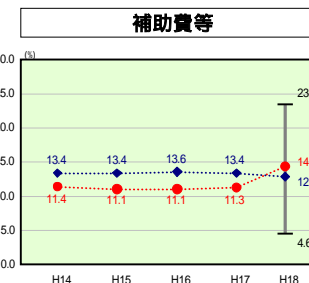
H18類似団体内順位 47/59  
全農市町村平均 4.6  
岩手県市町村平均 6.3



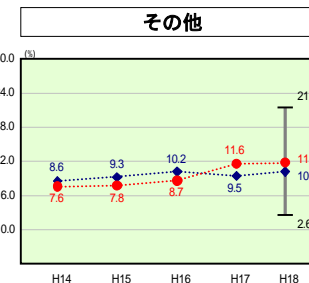
H18類似団体内順位 57/59  
全農市町村平均 70.5  
岩手県市町村平均 66.5



H18類似団体内順位 27/59  
全農市町村平均 19.8  
岩手県市町村平均 23.7



H18類似団体内順位 44/59  
全農市町村平均 10.2  
岩手県市町村平均 11.8



H18類似団体内順位 47/59  
全農市町村平均 10.6  
岩手県市町村平均 9.6

- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

- 人件費:給与制度改革の導入が1年遅れたため類似団体平均を7.2%上回っている。全国的にも高い水準にあるため、集中改革プランに基づき退職者の不補充(平成22年度まで)や独自給与削減(平成20年度:管理職5%、一般職2%)により職員給与の適正化に努める。
- 物件費:物件費に係る経常収支比率が類似団体平均より0.7%下回っている。これは物件費や維持管理費等を種別方式(前年度対比5.0%)により抑制に努めてきたためである。今後も種別方式により経費削減に一層努める。
- 扶助費:扶助費に係る経常収支比率が類似団体平均より0.8%上回っている要因として、児童手当の拡充に伴う給付の増加や保育所需要の高まりによる保育所関係経費の増加等が挙げられる。引き続き上昇傾向にあるため独自の制度については見直しを図る方針である。
- 公債費:平成11年度から平成14年度にかけて実施した公営住宅建設事業(総事業費17.1億円うち起債10億円)や、平成13年度から平成17年度にかけて実施した小学校改善事業(総事業費15.7億円うち起債9.2億円)等により類似団体平均より0.4%上回っている。今後は公債費削減計画に基づき普通建設事業の促進及びコスト削減による新規地方債発行の抑制(普通会計単年度発行額2.3億円以内)に努める。
- 補助費等:補助費等に係る経常収支比率が類似団体平均より1.5%上回っているのは介護保険事業やごみの収集運搬委託料等が一部事務組合へ移行したことにより大幅に増加したことが挙げられる。引き続き上昇傾向にあるため各団体への補助金については集中改革プランに基づき(5%)で見直しを図る方針である。
- その他:その他の経常経費が類似団体平均より1.6%上回っているのは、平成7年度より供用開始し現在も整備を進めている下水道事業(平成16年度末総事業費50.7億円うち起債36.6億円)資本費平準化(償還)への繰出金の影響が挙げられる。今後は集中改革プランに基づき使用料の見直し(100%程度)による健全化を図りながら一般会計の負担軽減を減らしていこう努める。
- 普通建設事業費:普通建設事業費の人口1人当り決算額が4.4%上回っているのは、老朽化した保育所の改善を行ったためである。来年度はバイパス関連の工事の最終年度にあたり引続き増加すると見込まれているが、公債費負担適正化計画に基づき事業の抑制に努めていく。